

2018年度は3月末時点で新聞・雑誌452件、テレビ・ラジオ126件の露出がありました。

### 2018年

●国際教養学部松宮新吾ゼミが英語学習教材を開発

大学  
4月12日 読売新聞

英語教育法を学んでいる国際教養学部松宮新吾ゼミの学生グループが、小学生向け英語学習教材を開発

●修学旅行先の鹿児島市で「野太刀自顯流」を体験

小学校  
4月22日 朝日新聞

学院創設者・高島鞆之助の出身地である鹿児島市を訪れる小学校の修学旅行において、「野太刀自顯流」を体験

●追手門学院大学志願者6年連続増

大学  
5月8日 毎日新聞

志願者を増やし続けている大学として注目

●スポーツにおける指導について吉田良治客員教授がコメント

大学  
5月17日~6月19日

読売新聞・朝日新聞・産経新聞・NHK・テレビ朝日・関西テレビ・読売テレビ等多数日本大学アメリカンフットボール部の悪質タックル問題を受け、吉田良治客員教授がコメントおよびテレビ出演で解説

●ロボットサイエンス部世界一!

大手前中・高

6月28日 大阪日日新聞  
8月31日 産経新聞

世界最大規模のロボットコンテスト「FLL(ファースト・ロゴ・リーグ)」で、大手前中・高ロボットサイエンス部が総合優勝。世界一に

●世界大学チアーディング選手権大会に出場

大学  
9月22日 産経新聞

10月にポーランドで開かれた世界大学チアーディング選手権大会の日本代表に、高山あか理さんと五嶋友加里さんが選出

●川原理事長・学長インタビュー

学院・大学  
10月4日 大阪日日新聞

6年連続で大学志願者を増やし、新教育の場として新キャンパス整備に取り組む川原俊明理事長・学長のインタビュー

●新キャンパス

大学  
10月21日 読売新聞

2019年4月開設の新キャンパスの紹介

●新キャンパス図書館

大学  
10月23日 每日新聞

2019年4月開設の新キャンパスの中核施設である図書館の紹介

●新卒採用ルール見直しでコメント

大学  
10月30日 日本経済新聞

経団連が新卒採用ルールの見直しを打ち出すことを受け、就職支援の現場を代表して、就職・キャリア支援課の下川邦泰課長がコメント

●東京オリンピックを目指す女子高生ラガー

中・高  
11月3日 読売新聞

2020年東京オリンピック出場が期待される、高校女子ラグビー部の室越香南さんと西村蒼空さんが抱負を語る

●注目! 表現コミュニケーション教育

中・高  
11月10日 共同通信

(京都・神戸等各地方紙に掲載)

中・高で取り組んでいる表現コミュニケーション教育が注目の教育手法として、石井路子教諭のコメントと合わせて紹介

●ロボットコンテスト世界大会で、中学・高校チームダブル5位入賞

大手前中・高  
12月12日 産経新聞

大手前中・高ロボットサイエンス部が、ロボットコンテストの世界大会WRO(ワールド・ロボット・オリンピアード)に、中学と高校の2チームで出場。両チームとも5位入賞

●自己肯定感を高める「ほめことばシャワー」

大手前中・高  
12月13日 読売新聞

1月14日 大阪日日新聞

自己肯定感を高める教育手法として、大手前中・高で導入している「ほめことばシャワー」が注目

●「喫煙者、入学お断り」

大学

12月22日 每日新聞

1月12日 読売新聞

2019年度からの入学者に対して大学および周辺地域において喫煙しないことを求める誓約を求めるなどを発表

2019年

●小学校の児童が使っている筆箱に注目

小学校

1月1日 朝日放送

正月特番の「文房具から消えたあれ」というコーナーで、小学校が指定教材として採用している筆箱に注目。採用の背景やモノを大切に使う道德教育について紹介

●追悼 堀屋太一氏

学院

2月13日 朝日新聞

2月8日に逝去された小学校59期の堀屋太一氏を悼み、後輩にあたる学院卒業生の三田誠広氏が寄稿

●注目の私学

大手前中・高  
2月19日 産経新聞

グローバルサイエンス教育を打ち出し、ロボットプログラミング教育やほめことばシャワーを取り組む大手前中・高に注目

2018年10月4日 大阪日日新聞



### 01 大学入試志願者7年連続增加! 就職率向上

追手門学院大学の2019年度入試(2019年4月入学者)に2018年度中に実施した入試)の延べ総志願者数は27,684人(前年比145%)と7年連続で増加しました。延べ人数に限らず実人数も同様の伸びとなっており、新キャンパス開設や教育の充実などの取り組みが奏効していると考えられます。

また、2019年3月卒業生の就職率(就職希望者に対する比率)は、99.6%と前年より0.6ポイント向上しました。

このほか、追手門学院中・高、追手門学院大手前中・高、追手門学院小学校いずれも前年より志願者が増加しました。

▶2013年度からの追手門学院大学の延べ志願者数の推移



### 02 頑張れ! 追手門学院出身のアスリート

追手門学院からは日本のスポーツ界を担うアスリートが誕生しています。2018年度卒業生からは、なでしこリーグに2名、なでしこリーグに昇格できるチャレンジリーグに1名、女子ラグビーのクラブチームに1名がいました。応援よろしくお願ひします!

[女子ラグビー]

[女子サッカー]

福島 わさな(大学49期、東京フェニックス)

佐喜眞 幹(大学49期、なでしこリーグ湯郷FC)

岡田 はるな(大学49期、東京フェニックス)

島野 美央(高66期、なでしこリーグ伊賀FC)

中 美咲(大学49期、長門ブルーエンジェルズ)

水野 莉奈(高50期、なでしこリーグINAC神戸レオネッサ)

藤埜 達紀(大学49期、長門ブルーエンジェルズ)

坂田 紗綾(高50期、なでしこリーグASハリマアルビオン)

磯貝 美加紗(大学49期、北海道バーバリアンズ)

川井 愛里(大学50期、チャレンジリーグNGUラブリッジ名古屋)

藤崎 春菜(大学50期、長門ブルーエンジェルズ)

★ 新アスリート

敬称略 [2019年3月学院調べ]

[男子サッカー]

[男子ラグビー]

井手口 陽介(高63期、スペイン・クルトゥラル・レオネサ)

高木 彰人(高64期、ガンバ大阪)

柿谷 曜一朗(大手前中56期、セレッソ大阪)

芝本 蓮(高66期、ガンバ大阪)

初瀬 亮(高64期、ガンバ大阪)

白井 陽斗(高66期、ガンバ大阪)

市丸 瑞希(高64期、ガンバ大阪)

奥野 耕平(高67期、ガンバ大阪)

※日本代表として活躍中の、堂安律選手(オランダ・フローニンゲン)は

高校2年まで追手門学院高校に在籍していました。

敬称略 [2019年3月学院調べ]

パラスポーツの普及などで活躍中の田口亜希氏(小94期/大手前中・高37期)が「東京2020聖火リレー公式アンバサダー」に就任されました。

### 03 追手門学院記章を制定

2018年の学院創立130周年を機に、教職員としての一体感を更に高めていく追手門学院記章をつくりました。

デザインは大学客員教授でデザイナーのコシノヒロコ氏に依頼しました。「無限に可能性の広がる追手門学院」という意味を込め、学院を象徴する桜と無限を表すメビウスの輪を組み合わせたオリジナルの記章です。

学院教職員は各種式典をはじめ、上着を着用する場合にはこの記章を身につけることとし、本年4月からスタートしています。



### 04 追手門学院教育改革宣言

昨年11月の130周年記念式典で発表した新教育コンセプトWILを実質化させ、教育改革を加速させるべく、以下のとおり「追手門学院教育改革宣言」を行いました。

1.WIL(Work-Is-Learning)の実現

学生・生徒・児童・園児(以下、「学院生」とする)が自ら学んで行動し、行動して学ぶことを目標とし、それを実現する。

2.成長の可視化

ポートフォリオによって、学院生の成長を可視化し、対話を通してキャリアの成長を支援する。

3.ICT活用、未来社会対応

ICT活用教育によってAI時代に備え、主体的な学びによって社会の変化に対応する。

4.教育の質保

社会に誇ることのできる学院生になるように、教育力を高め、教育の質保証に務める。

### 追悼 堀屋太一氏(小学校59期)

作家・元経済企画庁長官で小学校(当時は大阪偕行社学院)に約3年在籍した、堀屋太一氏が、2月8日に逝去されました。83歳でした。

生前、学院の周年事業に協力いただき、講演会や寄稿、ビデオメッセージなど折に触れて学院との縁を大切にされていました。

学院ではホームページに堀屋氏との関わりをまとめて紹介しているほか、本年3月には大学の将军山会館で過去の講演会のビデオを放映したり、寄稿のコピーを展示したりするコーナーを設け、生前の業績を偲びました。

